作成日：2024 年 11 月 11 日

島根県立中央病院で診察を受けられる患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用又は他の研究機関への提供を希望されない場合は、下記の「本研究に関する当院の連絡先」にご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	IT を利用した脳ドックによる脳卒中・認知症危険因子とその予防に関する研究
意義・目的	人口の高齢化に伴い、我が国は認知症発症率が世界一高くなっています。脳卒中・認知症の予防に対しては、これまで教育歴、喫煙、運動習慣、高血圧、糖尿病、肥満、食事等が報告されていますが、我が国での質高いエビデンス(科学的根拠)はありません。 一方、我が国では脳健康診査（脳ドック）が世界で唯一発展しており、脳卒中・認知症の発症前から発症まで大規模長期縦断的追跡調査できる環境にあります。また、これまで脳ドックによる脳卒中・認知症の危険因子や予防の大規模研究はされておらず、我が国の脳ドックデータの解析を行う必要があります。 日本のみならず、世界中で人口の高齢化と共に脳卒中・認知症の発症が問題となっている今、これらの危険因子が明らかになり、予防法が確立されればその意義は大きいと考えます。
研究期間	当院病院長許可日（利用開始日）2024 年 12 月 10 日　～　2035 年 12 月 31 日
対象者	2000 年 1 月 1 日～2031 年 12 月 31 日の脳ドック受健者のうち、脳ドックデータベースに登録された健診者の方。
研究内容	健診者において、「利用・提供を受ける試料・情報の項目」に示す情報について、共同機関より当院へ Google ドライブにて提供いただきます。 ①脳ドックデータより、脳卒中、認知症の頻度、MRI 等検査の陽性率を検討します。 ②アンケートにより、脳ドック健診者の方から、脳卒中、認知機能障害　発症者を追跡し、脳ドック健診時所見、既往歴、生活習慣等の危険因子分析を行います。 （アンケートの依頼は、E メールにて行い、インターネット上で管理番号を付した上で、無記名にて質問事項に回答いただきます。アンケートにより得られた大規模データそのものは、統計処理をして使用します。 ③それらの分析を基に、可能なら脳卒中・認知症の予測人工知能を作成します。 なお公表する際には、個人を特定できる情報は削除します。
利用する試料･情報の項目	メールアドレス、年齢、性別、BMI 値、BMI 分類、MRI 検査日、MRI 施行回数、MRI 装置（テスラ）、MRI 検査異常有無、脳室周囲変化グレード分類（PVH Grade）、脳深部白質変化グレード分類（DSWMH Grade）、脳萎縮有無、MRI 異常所見、MRA 有無、MRA 異常有無、脳動脈瘤有無、脳動脈瘤部位、脳動脈瘤サイズ、血管狭窄有無、血管狭窄部位、血管狭窄率、MRA 異常所見、高血圧、高脂血症、糖尿病、うつ病、脳卒中有無、脳卒中種類、脳卒中発症日、神経所見有無、健診後脳ドック健診後、健康状態、新たに罹患した疾病、全ての入院加療、認知機能検査有無、認知機能障害の有無、改善した生活習慣、気をつけている食事、平均睡眠時間、ストレスについて　等
試料･情報の他機関への提供有無	■あり（　■国内　□海外　） 提供方法：匿名化したデータを Google ドライブにて授受します □なし
提供を開始する予定日	当院病院長許可日　2024 年 12 月 10 日
提供する試料･情報	「利用する試料・情報の項目」と同様

の項目	
研究組織	研究代表機関：機関名および研究責任者名 　島根県立中央病院　井川　房夫 共同研究機関：機関名および研究責任者名 　京都大学大学院　医学研究科健康情報学　中山　健夫 　株式会社エムネス　嶋田　裕記 　メディカルチェックスタジオ東京銀座クリニック　知久　正明 　スマートスキャン株式会社　　川田隆二 試料・情報提供を行う機関：機関名および施設長名 　該当なし
本研究に関する当院の連絡先	研究責任者： 島根県立中央病院　脳神経外科　井川　房夫 電話：0853-22-5111（代表） 事務担当： 島根県立中央病院　臨床研究・治験管理室 電話：0853-30-6590（直通）
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。 URL：https://www.spch.izumo.shimane.jp/privacy
結果の公表	投稿論文で公表予定です。
備考	